日程　2027年8月20日（金）～22日（日）　会場　リンクステーションホール青森

第60回 全国手話通訳問題研究集会

サマーフォーラム in あおもり

速報 第1号

2027年の夏は 青森さ来いへ～

２０２７年８月２０日（金）～２２日（日）、第６０回全国手話通訳問題研究集会～サマーフォーラム in あおもり～を青森市で開催いたします。青森県は、津軽と南部という二つの文化圏が長い歴史の中でそれぞれの風土を育み、豊かな多様性を形づくってきました。津軽には、ねぶた祭の熱気、津軽三味線の力強い音色、厳しい冬を越えてきた人々の生活文化が息づき、南部には、南部藩の歴史、南部せんべいに代表される素朴で温かい食文化、山と海に寄り添う暮らしが今も大切に受け継がれています。こうした文化の違いは、青森の魅力であると同時に、互いを理解し合い、尊重し合うことで新しい価値を生み出してきた歴史でもあります。

津軽と南部が交流し、対話を重ねてきた歩みは、まさに多様な立場の人々が協働する手話・ろう者支援の世界にも通じるものです。今回の大会では、青森の文化が育んできた「違いを認め合い、つながりを深める力」を全国の仲間と共有し、新たな学びと出会いを生み出す場にしていきたいと考えています。節目となる第60回大会を青森で迎えるにあたり、実行委員会一同、誰もが安心して参加できる大会となるよう準備を進めています。

青森の自然、文化、そして人の温かさを感じながら、全国の皆さまと共に新しい一歩を踏み出せることを心より楽しみにしています。

実行委員長　阿保（あぼ） 和久（かずひさ）

第60回全国手話通訳問題研究集会　～サマーフォーラムinあおもり～実行委員会 事務局
〒030-0944　青森県青森市大字筒井字八ツ橋76-9　一般社団法人 青森県ろうあ協会内
E-mail　60sf.aomori@gmail.com

Instagram始めました(^_-)-☆

◀弘前城の桜
ひろさき

「死ぬまでに行きたい！世界の絶景」にも選ばれた。ライトアップされた夜桜も幻想的。ソメイヨシノを中心に、シダレザクラ、八重桜など、約50種類、2600本程の桜が植えられている。

八戸市　蕪島▶
はちのへし　かぶしま

蕪島は、天然記念物のうみねこの繁殖地として有名。毎年3月中旬頃には南方から数万羽のうみねこが飛来し産卵する。ウミネコ繁殖地として、国の天然記念物に指定されている。

「日本の道100選」に選ばれた官庁街通りは、十和田市のシンボルロード。街中がやわらかなピンク色に染まり、松のグリーンがより一層桜の美しさを引き立てる。

十和田市
官庁街通りの桜▶

青森の四季

春

秋

夏

冬

毎年8月2日～7日に開催。あかりの灯った色鮮やかなねぶたは最大幅約9m、高さ約5m、奥行き約8m、重さ約4t。笛・手振り鉦・太鼓のねぶた囃子と「ラッセーラー、ラッセラー！」の掛け声が見るものすべてを圧倒させ、東北の夏を彩る祭り。

◀青森ねぶた祭り

田んぼアート▶

7色の稲を絵具代わりに巨大な絵を描く田んぼアート。田舎館村が発祥の地とされている。毎年異なるテーマの作品が描かれ、その年ならではのアートが楽しめるのも大きな魅力。

◀高山稲荷神社

千本鳥居がある稲荷神社というと京都の「伏見稲荷大社」が有名。実は、つがる市にも「高山稲荷神社」がある。朱色の鳥居が数え切れないほど並び、異世界のような不思議な空間を創出している。

「八甲田ロープウェー」では、10月上旬から中旬までブナ・ナラ・カエデ・ナナカマドなどの木々が色付く風景を360度パノラマで満喫できる。

◀八甲田山
はっこうださん

下北郡東通村尻屋崎周辺に放牧されている馬。厳しい冬にも耐えられるたくましい体格の馬。足が短く胴が長くて、ずんぐりしている。寒立馬及びその生息地は青森県の天然記念物に指定されている。

寒立馬▶
かんだちめ